

令和 7 年度事業計画

(令和 7 年 6 月 1 日～令和 8 年 5 月 3 1 日)

令和7年度 事業推進基本方針

1 情勢

世界経済は、米国が堅調な内需により高めの成長を維持する見通しのほか、中国経済も本年は大規模な経済対策が下支え要因となり、底堅い成長が続くとみられるが、トランプ政権が掲げる政策次第で世界経済の成長率は上下に振れる可能性があり、加えて中国は不動産問題、欧州は政治不安を抱えており、状況により世界経済への波及も懸念される。

また国内では、米国の政策による影響の不確実性は大きいものの、今年の春闘における賃上げ率は昨年並みに続くとみられ、実質賃金にならしてみれば前年比プラスで推移する見通しであり、個人消費は、食料価格の高騰の影響から一時的に伸び悩むが、穏やかに持ち直すとみられる。また企業の設備投資は、デジタル化や人手不足対応等を背景に、拡大傾向が続くとみられる。

自動車産業においては、令和6年は、一部メーカーの認証不正問題が影響し、新車販売台数が前年対比で落ち込んだが、令和7年は、5月までの累計実績が対前年を上回っている。

一方、リサイクル業界においては、令和6年の使用済自動車の発生台数は、前年比4.5%減の約260万8千台と、3年連続で前年割れし、過去10年間を見ると最も低い水準にとどまっている。ここ数年の減少は新車の供給問題が大きく関わっており、コロナ禍の当初は年300万台以上であったものの、半導体などの部品不足による新車の供給遅れが拡大し、すぐ乗れる中古車の人気が高まるとともに、海外で根強い日本の中古車需要を受けて輸出も増加し、使用済車に回る車両が減少した。さらに、部品不足が解消した矢先、一部メーカーでの認証不正問題が拡大したことで、仕入環境の厳しい状況が長引いている。

2 基本方針

令和7年度は、現下の情勢に的確に対応しながら、健全経営の生命線である入庫台数を確保し、強固な経営基盤の再構築を図り組合員社の利益を確保するため、次の3点を基本方針として取り組むこととする。

- ① 計画入庫台数の安定的確保
- ② 収益補完事業の推進（員外仕入事業、丸車輸出販売事業）
- ③ 自動車リサイクル業界を取り巻く環境変化への対応（新しい生産方法の導入・新しい販売先の開拓・新しい供給源の獲得・新しい組織の実現）

3 令和7年度事業計画数値目標

○ 入庫台数	5,000 台
○ 処理	5,000 台
○ 総収入額	450,490 千円
○ 予備費（経常利益）	6,000 千円

令和 7 年度 事業計画

○ 入庫台数	<u>5,000 台</u>			
上半期	2,500 台 (50.00%)			
下半期	2,500 台 (50.00%)			
月別台数	6月 416	7月 416	8月 417	9月 417
	10月 417	11月 417	12月 416	1月 416
	2月 417	3月 417	4月 417	5月 417
○ 処理台数	<u>5,000 台</u>			
上半期	2,500 台			
下半期	2,500 台			
○ フロン回収・破壊量	<u>1,116 kg</u>			
対象車両	4,750 台 (	5,000 ×	95%)	
* 台当り平均	235 g			
○ エアバック回収量	<u>10,230 個</u>			
対象車両	4,700 台 (	5,000 台 ×	94%)	
* 内 メーカー破壊依頼数	329 台 (	4,700 台 ×	7%)	
○ 事業収入総額	<u>439,890 千円</u>			
内訳				
① 適正処理手数料収入	13,790 千円			
② 金属類等原材料収入	248,500 千円			
③ 部品(輸出含む)収入	140,000 千円			
④ 輸出自動車販売収入	37,600 千円			

* 収入額算出基礎

① 適正処理手数料収入	処理	5,000 台	
フロン回収破壊手数料収入 95%)	4,750 台 ×	1,420 円 ≒	6,740 千円
エアバック回収手数料収入 94%)	4,700 台 ×	1,500 円 ≒	7,050 千円
		合計	13,790 千円
② 金属類等原材料収入	5,000 台 ×	平均単価 49,700 円	248,500 千円
③ 部品(輸出含む)収入	5,000 台 ×	28,000 円	140,000 千円
④ 輸出自動車販売収入	470 台 ×	80,000 円	37,600 千円

令和7年度 資産・設備・備品増強計画
及び機械類のメンテナンス費用

① メンテナンス関係

(単位:千円)

* 前処理係

・ 手持ち工具定期交換	1,200
・ フォークリフト2台 定期点検修理	300
・ B・Cライン昇降リフト(2機) オイル漏れ	850
・ 第一ライン 台車走行車輪ガイド交換	350
・ 第二ステーション、昇降リフトチェーン交換	620
・ 溶接フェーム定期点検・高圧ガス講習等	180
・ 日刊市況通信購読料	85
小計	3,585

* 解体係

・ 解体機 燃料費・定期点検	5,132
・ プレス機作動油・リレー交換	990
・ プレス機上蓋ライク交換	3,500
・ プレス機扉シリンダ作動油漏れ修理	4,000
・ 発電機3台・溶接機・秤機 点検修理	150
・ フォークリフト定期点検 3機分	330
小計	14,102

* 車両係

・ 社用車 車検・定期点検・修理	550
小計	550

* 部品係

・ 床上クレーン2機 年次点検	140
・ フォークリフト 2台定期点検修理・タイヤ交換	326
・ 消耗品 (作業指示書,ホイール洗剤等)教材エンジン木製パレット	300
・ タイヤハウス 屋根破損修理	610
・ ネットショップ維持管理料	120
小計	1,496

* 総務 その他

・ 廃油廃液装置点検・修理交換・修理・煤煙測定	1,438
・ 廃液・合併浄化槽汲取り費用	760
・ 自家給油所保守・消防設備法定点検他	257
・ 3ステ屋根彩光用ポリカーボネイト交換	300
・ CO測定器年次点検	910
・ 排水路水質検査	72
・ エコアクション21 中間検査	700
・ 事務所入口塗装	200
・ 資格取得等講習料、メンタルヘルス費用・職員制服	720
・ ホームページ改修	
・ 職員教育研修	600
小計	5,957

設備、メンテナンス費用 合計 25,690

② リース資産関係

・ 営業車(5年:総額2,240千円)	2,240
小計	2,240

③ 固定資産

・ フォークリフト (リース修了購入)	140
・ ニブラ (リース終了購入)	200
・ PC・プリンター(5年:総額12,500千円)	10,800
・ ニブラ爪先アタッチメント予備	5,200
・ 台貫設置	15,000
・ 解体場甲山置場破損修理	3,030
・ プレス機稼働電源安定確保新規電気工事	5,500
小計	39,870